

■今、起きていることを知る

◇千葉県防災ポータルサイト

下のようなことを知ることができます。英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語で書いているページもあります。

- ・千葉県の地震・津波・台風など
- ・避難指示<にげてください>という連絡>情報、避難所<にげる ところ>のあるところ
- ・あぶない場所など、すぐに知ってほしいこと
- ・天気予報（注意報・警報・雨の多さなど）
- ・電車や道路の止まっているところ
- ・電気や水道

<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/>

◇外国人のための情報アプリ「Safety tips」<スマホで みられます>

このアプリは、地震や津波などのときやくにたつ情報があります。いろいろなことばでみることが出来ます。

- ・下の URL からダウンロードしてください

Android: <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.rcsc.safetyTips.android>

iPhone: <https://itunes.apple.com/jp/app/safety-tips/id858357174>

◇NHK WORLD-JAPAN<災害の情報が スマホで みられます>

地震や台風がきたときに、新しいニュースをおしえます。英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語でみることが出来ます。

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/app/>

■家で やっておくこと

◇準備しておくもの

食べものはいつも多く買っておきます。災害で店にいけないときがあります。古いものから食べてください。食べたものを新しく買ってください。カセットコンロがあると、あたたかいものを食べることができます。

[家にいつもおいておくもの]

- ・水(1人 1日 3リットル、1週間分)、カセットコンロ、カセットボンベ<かえのガス>、食べもの(米、カップラーメン、レトルト食品<パックのカレーなど>、おかしなど)
- ・小さいラジオ、非常用トイレ、携帯電話のバッテリー、懐中電灯<もちはびの できる ライト>、ゴミ袋

- よく使う 薬、生理用品<ナプキンやタンポン>、粉ミルク<赤ちゃんの のむ ミルク>、オムツ
<赤ちゃん、としを とった人>など

〔にげるときに もっていくもの〕

□水、□食べもの、□携帯電話の バッテリー、□懐中電灯、□ヘルメット、防災ずきん<頭に かぶるもの>、□常備薬、□お金、□通帳、はんこ、□タオル、□服、下着、□マスク、□かっぱ、レインコート、□ティッシュペーパー、□ライター、ろうそく、□ゴミ袋など

◇家が こわれなために すること

ふるい 家や 木の 家、地面が よわいところにある 家、1階の 壁が すくない 家などは、耐震診断<どれだけ 地震につよいか しらべる>を して ください。地震に 強い 家にして ください。

大きな 家具は 動かないようにして ください。ねる 部屋や 子どもの 部屋に 大きな 家具を おかないで ください。にげるときに あぶないです。家具を おく 場所を よく 考えて ください。窓に 飛散防止フィルム<われた ガラスが とばないようにするもの>を はって ください。

「感震ブレーカー」は、地震が くと 電気を とめる 機械です。火事が おきにくいです。

◇危険な 場所や 避難場所<にげるところ>を して ください

台風や つよい 雨、津波などが きたとき、あぶない場所を 知って ください。役所の ハザードマップ <あぶない 場所を おしえる 地図>などで 知ることが できます。

避難の 場所と いく道を 知って ください。安全に にげることが できます。つよい 雨のときと 津波のときで、避難場所がちがうかもしれません。

◇防災訓練<地震などが きたときのための 練習>

日本は 地震が 多い 国です。役所や 近所で 防災訓練を するときは、必ず いって ください。地震などが きたとき、どうすればいいか 知って ください。

■地震が きたときに すること

①緊急地震速報

地震が くる すぐ まえに、緊急地震速報が テレビや ラジオに することがあります。ゆれる まえのみじかい 時間で、自分の からだを まもる 準備をして ください。

②地震が きたとき

テーブルや つくえの 下へ いって、からだを まもって ください。地震が おわるまで 待って ください。

③地震の ゆれが 止まったとき

海や 山の近くの人は すぐに にげて下さい。津波や 山くずれが くるかもしれません。

すぐに 火を止めて ください。ドアや 窓を あけて にげる 道をつくって ください。

④にげる、家族が 大丈夫か 知る

ラジオなどで 正しい 話を きいて ください。家が こわれそうなときは、にげて ください。準備して いたものをもって、くつを はいて、あるいて にげて ください。

電気の ブレーカーを 止めてから にげて ください。感震ブレーカーが あれば、機械が 電気を 止めてくれます。

はなれたところに いる 家族が 大丈夫か 知って ください。電話は できるだけ 使わないで ください。災害用伝言サービス<メッセージを のこすことが できる>を 使って ください。家族に 連絡することが できます。

・災害用伝言ダイヤル<171>

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

•Web171

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/index.html>

・携帯電話災害用伝言版

<NTT ドコモ>

<https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html> (日本語)

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/info/disaster/index.html> (英語)

<au>

<http://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon> (日本語)

<http://www.au.com/english/mobile/anti-disaster/saigai-dengon> (英語)

<ソフトバンク>

<http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/> (日本語)

<ワイモバイル>

<http://www.ymobile.jp/service/dengon> (日本語)

⑤人を たすける

大きな 地震などのときは すぐに たすけに くることが できません。ちかくの 家の 人と 一緒に 火を けして ください。けがをした人を たすけて ください。防災訓練へ 行って、練習して ください。

⑥避難所<にげる ところ>

全ての市や町や村にあります。

お金はかかりません。誰でも使えます。泊まることができます。

ラジオなどの ニュースを きいて ください。

食べるものは ありますが、最初は 家から もってきたものを 食べて ください。

避難所では、ほかの人と たすけあいましょう。

◇津波

千葉県ちばけんの東ひがし、西にし、南側みなみがわは海うみがあります。地震じしんのあとで津波つなみがくるかもしれません。海うみのちかくにいるときに地震じしんがきたら、できるだけ海うみからとおい、高いたかところへにげてください。

<津波について 注意すること>

- ①強い地震つよ じしんがきたときは、すぐに海うみからとおい、高いたかところへにげてください。弱い地震よわ じしんでも、長いあいだゆっくりとゆれたときは、にげてください。
- ②ゆれていないときも、津波警報つなみけいほう<津波がすぐにくることを知らせる>がでたときは、すぐににげてください。
- ③津波つなみは何回なんかいもきます。警報けいほうがなくなるまで家いえにかえらないでください。

地震じしんや 台風たいふうなどのときに よく つかう 日本語にほんご

避難 <small>ひなん</small>	にげること
高台 <small>たかだい</small>	高いところ
迂回 <small>うかい</small>	いつもとちがう道 <small>みち</small> をいく
安否 <small>あんび</small>	大丈夫 <small>だいじょうぶ</small> かどうか
停電 <small>ていでん</small>	電気 <small>でんき</small> が止まる
断水 <small>だんすい</small>	水道 <small>すいどう</small> の水 <small>みず</small> がでなくなる
給水車 <small>きゅうすいしゃ</small>	水 <small>みず</small> を配 <small>くば</small> る車 <small>くるま</small>
不通 <small>ふつう</small>	とおることができない

■台風たいふう・つよい 雨あめ

日本にほんには、毎年まいとし多くの台風たいふうがきます。強い風つよ かぜや雨あめで、死ぬ人し ひとやけがをする人ひとがいます。天気てんきに注意ちゅういして、はやくから準備じゅんびしてください。役所やくしょから避難情報ひなんじょうほう<にげるお知らせ>がでたときは、すぐににげてください。

◇台風たいふう・つよい 雨あめのための 準備じゅんび

- ①家のまわりをいえしらべてください。風かぜで飛とんでいきそうなものはぜんぶ家のなかへいれてください。または、飛ばないようにしてください。川かわから水みずがきそうなところでは、家具かぐや食べ物たなどを2階かいなど家の高い場所たか ばしょへもって行ってください。
- ②電気でんきが止まるかも しれません。懐中電灯かいちゅうでんとうやラジオ、携帯電話けいたいでんわのバッテリーなどを準備じゅんびしてください。
- ③水みずが止まるかも しれません。飲むの水を準備みず じゅんびしてください。
- ④天気予報てんきよほう(警報けいほう、注意報ちゅういほう、雨あめの多さおお)をみてください。

- ⑤ できるだけ 外へ 出ないで ください。台風が くる まえでも、電車や バスが 止まること が あります。テレビ、ラジオ、インターネットで みてください。
- ⑥ 病気の人や 子ども、あるけない人を 安全な 場所へ つれていって ください。
- ⑦ 役所の お知らせに 注意して、できるだけ はやく にげて ください。にげるのに 時間がかかると 家族がいるときは、はやくにげて ください。

◇にげる

「警戒レベル」を みて、いつ にげればいいのか 知って ください。警戒レベル3、4が 来たときは、すぐ に にげて ください。

〔警戒レベル1〕 台風などの 準備が できているか しらべて ください。

〔警戒レベル2〕 避難場所へ いく 道を たしかめて ください。

〔警戒レベル3〕 にげるのに 時間がかかると 人は にげて ください。年をとった人や あるけない人、子どもなどです。役所から 「高齢者等避難」が できます。それ以外の人は にげる 準備をして ください。

〔警戒レベル4〕 ぜんぶの人が にげて ください。役所から 「避難指示」が できます。

〔警戒レベル5〕 災害が おこりました。家や まちが こわれています。自分が 死なないように 命を まもってください。

■火事

日本の 家や アパートは 木で できています。畳や 紙の戸など、火が つきやすいものが 多く あります。火事をおこさないように いつも 注意して ください。

◇火事をおこさないために 大事なこと

- ① ベッドやふとんの上で たばこを すうことは 絶対に やめて ください。
- ② ストーブは 火が つきやすいものから とおい ところにおいて ください。
- ③ ガスコンロなどの ちかくに いないときは、必ず 火を けて ください。
- ④ 住宅用火災警報器を つける 必要が あります。
- ⑤ ふとん、服、カーテンに 火が つくかも しれません。火が つきにくいものを使って ください。
- ⑥ 火が 小さいうちに 消すことが 大事です。住宅用消火器<火を けす 道具>を 家において ください。
- ⑦ 家のちかくの人を 助けることが できるようにして ください。